

【記者説明会 & 施設見学会】

昆虫マテリアル研究・事業の現在と未来

— これからも変わらない食を守るために —

【日時】4月22日(火) 10時～ 【会場】愛媛大学 樽味キャンパス

大日本印刷（DNP）と愛媛大学は、持続可能な食料供給を目指し、養殖魚のエサとなる昆虫（昆虫マテリアル）を量産する共同研究を2023年8月に開始しました。今回、愛媛大学に、昆虫マテリアルの量産とビジネス化に向けた産学連携の「昆虫マテリアル研究講座」を2025年6月1日に新設し、量産検証する施設（ラボプラント）を設置します。

また、昆虫を飼育する工程の副産物として生成されるフンが、新たな価値を生み出すことを発見しました。今回、報道関係の皆さまを対象に、昆虫マテリアル研究・事業の説明とラボプラントの見学会を実施します。



乾燥ミールワームと粉末



愛媛大学の実験室の様子

開催概要

- 日時 2025年4月22日(火) 10時～11時30分（9時45分に受付開始）
- 会場 愛媛大学 樽味キャンパス 農学部本館北棟2階（愛媛県松山市樽味3-5-7）
伊予鉄バス8番線「愛大農学部前」徒歩すぐ

- 内容 ①昆虫マテリアル研究講座とビジネス化について
②昆虫のフンの高付加価値化について
③ラボプラント見学

- 登壇者 ご挨拶
愛媛大学 大学院農学研究科長 治多伸介（はるた しんすけ）
大日本印刷 執行役員 村上和郎（むらかみ かずお）

ご説明

愛媛大学 大学院農学研究科教授 三浦猛（みうら たけし）
大日本印刷 イメージングコミュニケーション事業部 平井佑太（ひらい ゆうた）

- 申し込み方法 4月17日(木) 17時まで *今回オンライン配信は行いません
媒体名・会社名・部署名・氏名・連絡先（電話、メールアドレス）を記載の上、下記担当までお申込みください。

愛媛大学 農学部 総務チーム 松井：agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp
大日本印刷株式会社 広報室 北川：kitagawa-y3@mail.dnp.co.jp

アクセス



校内



昆虫マテリアルについて

DNP と愛媛大学は、タイなど養殖魚の飼料（エサ）に必要な栄養源として、昆虫のミールワームの飼育工程の自動化・効率化を目的とした共同研究を開始しています。

世界的な人口増加や経済発展を背景に、世界の食料需要量は 2050 年に 2010 年比 1.7 倍（58.17 億トン）になると予測されています。水産物の需要も拡大すると指摘されていますが、一方で漁船漁業による生産が頭打ちになっており、養殖業への期待が高くなっています。現在は主に、養殖魚の飼料に魚粉が使用され、その原料の多くがカタクチイワシ等の天然資源に依存しており、また近年は、魚粉の価格の高騰やサプライチェーン（供給網）上のリスク等の課題もあります。そこで両者は、養殖魚のエサとなるミールワームを国内で生産するための研究・ビジネス化を進め（昆虫マテリアルビジネス）、持続可能な食料供給の実現を目指します。



ミールワームを配合した飼料のイメージ



ラボプラントの外観

<過去の関連ニュース>

- 2024 年 9 月 20 日 養殖魚のエサとなる昆虫の飼育自動化に向けた原理試作機を開発
URL → https://www.dnp.co.jp/news/detail/20175719_1587.html
- 2023 年 8 月 10 日 大日本印刷と愛媛大学 養殖魚のエサとなる昆虫の自動飼育装置の開発を開始
URL → https://www.dnp.co.jp/news/detail/20169570_1587.html

<個人情報のご記入にあたって>

ご記入いただきました個人情報は、DNP と愛媛大学が収集し、今回の「記者説明会&施設見学会」の出席管理・ご連絡のみに利用いたします。関係者以外の第三者への提供・預託はおこないません。

<本件に関する問い合わせ先>

- 国立大学法人愛媛大学 農学部 総務チーム 松井
TEL : 089-946-9803 e-mail : agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp
- 大日本印刷株式会社 広報室 北川
TEL : 080-3736-5245 e-mail : kitagawa-y3@mail.dnp.co.jp